



## カケハシ・プロジェクト派遣プログラムの記録

対象：沖縄プログラム（米国）

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国へ日本の高校生および引率者計 75 名が派遣され、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2018 年 10 月 31 日～11 月 7 日の日程でプログラムを実施しました。

一行は、学校交流で日本の魅力紹介プレゼンテーション及び実演を行い、視察先では米国や日米両国の関係について理解を深めました。プログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて積極的に対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪米経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

#### 【参加団体・人数】

沖縄県立知念高等学校	25 名
沖縄県立向陽高等学校	25 名
沖縄県立那覇国際高等学校	25 名

#### 【訪問地】

カリフォルニア州チコ（知念高等学校）

ハワイ州（向陽高等学校）

ワシントン州シアトル（那覇国際高等学校）

### 2. 日程

#### 1) 知念高等学校：カリフォルニア州チコ

- 10/31（水） 【到着】  
【視察】 ジャパン・ハウス
- 11/1（木） 【オリエンテーション】  
【視察】 ゴー・フォー・ブローク・ナショナル・エデュケーション・センター  
ロサンゼルスからサクラメント(チコ)に移動
- 11/2（金） 【学校交流】 チコ高校  
【視察】 ゲートウェイ科学館
- 11/3（土） 【視察】 チコ・ファーマーズマーケット  
【視察】 カリフォルニア州立大学チコ校（CSU）  
【ワークショップ（報告会準備）①】
- 11/4（日） 【ワークショップ（報告会準備）②】  
【視察】 カリフォルニア博物館  
【視察】 サクラメント旧市街
- 11/5（月） 【成果報告会】

- 【視察】アーデン・フェア・モール
- 11/6 (火) 【出発】
- 11/7 (水) 【帰国】

## 2) 向陽高等学校：ハワイ州

- 10/31 (水) 【到着】
  - 【視察】パールハーバー（戦艦ミズーリ記念館, アリゾナ記念館）
  - 【オリエンテーション】
- 11/1 (木) 【表敬訪問】在ホノルル日本国総領事館  
ホノルルからコナ(コハラ)に移動
  - 【対面式】コハラ・インスティテュート(コハラ高校生徒と共に研修施設宿泊)
- 11/2 (金) 【学校交流】コハラ高校
  - 【視察】ハワイ・インスティテュート・オブ・パシフィック・アグリカルチャー
- 11/3 (土) 【視察】プウコホラ・ヘイアウ国立歴史公園
  - 【視察】カメハメハ大王像
  - 【視察】ポロル峡谷展望台
  - 【歓送会】コハラ高校
- 11/4 (日) コナからホノルルに移動
  - 【ワークショップ（報告会準備）】
- 11/5 (月) 【視察】ハワイ日本文化センター
  - 【成果報告会】
- 11/6 (火) 【出発】
- 11/7 (水) 【帰国】

## 3) 那覇国際高等学校：ワシントン州シアトル

- 10/31 (水) 【到着】
  - 【視察】パイクプレイス・マーケット
  - 【オリエンテーション】
- 11/1 (木) 【表敬訪問】在シアトル日本国総領事館
  - 【視察】2世ベテランズ・コミティー
- 11/2 (金) 【学校交流】カミアック高校
- 11/3 (土) 【ホームステイ】
- 11/4 (日) 【ホームステイ歓送会】
  - 【ワークショップ（報告会準備）】
- 11/5 (月) 【成果報告会】
  - 【学校交流】ワシントン大学
- 11/6 (火) 【出発】
- 11/7 (水) 【帰国】

### 3. プログラム記録写真

#### 1) 知念高等学校：カリフォルニア州チコ



10/31 【視察】 ジャパン・ハウス



11/1 【視察】 ゴー・フォー・ブローク・ナショナル・エデュケーション・センター



【学校交流】 チコ高校



11/3 【視察】 チコ・ファーマーズマーケット



11/4 【視察】 カリフォルニア博物館



11/5 【成果報告会】

2) 向陽高等学校：ハワイ州



10/31 【視察】戦艦ミズーリ記念館



11/1 【表敬訪問】在ホノルル日本国総領事館



11/2 【学校交流】コハラ高校



11/2 【視察】ハワイ・インスティテュート・オブ・パシフィック・アグリカルチャー



11/3 【歓送会】コハラ高校

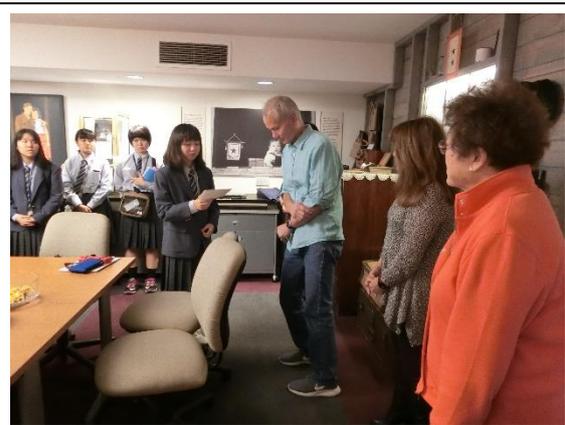


11/5 【視察】ハワイ日本文化センター

### 3) 那覇国際高等学校：ワシントン州シアトル



11/1【表敬訪問】在シアトル日本国総領事館



11/1【視察】2世ベテランズ・コミティー



11/2【学校交流】カミアック高校



11/2【学校交流】カミアック高校



11/4【ホームステイ歓送会】



11/5【学校交流】ワシントン大学

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ 知念高等学校

これまで日系人の歴史について学ぶ機会がありませんでした。ゴー・フォー・ブローク・ナショナル・エデュケーション・センターでは、日系人の戦争での立場や収容所での生活、差別、偏見といった悲しい過去を学びました。アメリカのみに忠誠を誓えるかという質問に日系人が答えを窮した話には胸が痛みました。平和とは何かを考えさせられました。またカリフォルニア博物館でも日系2世、3世の方たちから直接話を伺いとても勉強になりました。チコ高校での交流で

は、沖縄の学校生活とは違うことが多くとても貴重な経験ができました。授業の種類も農業、工業、ミュージカルなど多岐にわたる選択肢があり、将来の特技や仕事につながるのは素晴らしいと感じました。

#### ◆ 向陽高等学校

一泊二日のコハラ高校との交流では、最初は緊張してあまり話せなかったですが、一緒にゲームをしたり、ご飯を食べたり、映画を見たりするうちに全部聞き取れるわけではなくても、単語を使い、意味を理解して受け答えができるようになりました。わからなくてもゆっくり話してくれ、とても優しくかったので、安心して自分から積極的に話しかけることもできました。2日間しか交流していないのに、別れる時はとても悲しくなりました。とても貴重な体験ができました。

#### ◆ 那覇国際高等学校

今回の訪問を通じて、一番印象に残ったことは、「文化の違い」です。やはり日本にいても違いを感じることはありますが、実際に現地に行くともっと強く感じました。例えば、日本では車に財布などを置いていくことは普通にありますが、アメリカではそれは絶対しないことだと知りました。それは文化の違いだけでなく、安全の面でも違うと感じました。

また、多くの人の話を聞いて、日本に誇りを持つことができたと同時に、日本に伝わっていない大事なこともあるのだなと思いました。それは、太平洋戦争のときに強制収容された人がいることであったり、大企業がある中でホームレスの人達も多かったり、ということです。

また、学校交流では、特に外国の文化に触れることができました。学校では自分の好きな授業を取れたり、授業中に水を飲めたり、制限されていることが日本に比べて少ないなど感じました。また、日本文化を紹介し、いい印象を持ってくれたことが良かったと思います。

ホームステイでは、家族全員とコミュニケーションをとる機会がたくさんあって、文化の交流や英語力の向上に繋がりました。そしてアメリカの食文化については深く知ることができました。このプログラムを通して、日本のことが好きになったと同時に、アメリカのことも好きになることができました。

### 5. 受入れ側の感想

#### ◆ 学校交流参加学生（知念高等学校：カリフォルニア州チコ）

日本について学ぶことができたことは興味深く、そして知念高校の生徒達が自分の高校や文化について嬉しそうに話してくれたことで楽しむことができました。教科書からではなく日本に暮らす生徒達から直接話を聞いたことがよかったです。発表会を盛り上げるための工夫や賞品があったことも良かったです。日本にぜひ行ってみたいと思いました。お祭りや踊りを実際に見てみたいです。

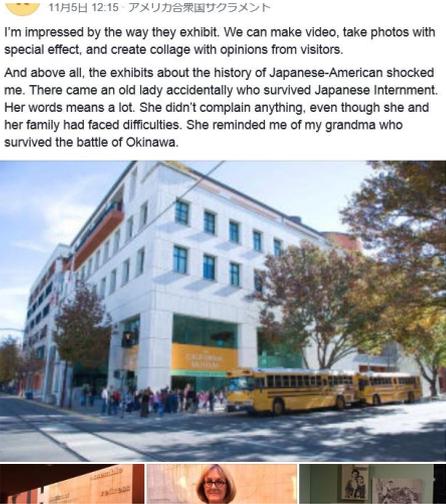
#### ◆ 学校交流参加学生（向陽高等学校：ハワイ州）

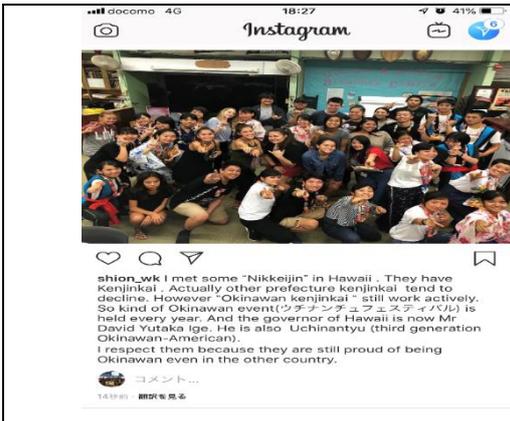
受け入れ側としても、この交流プログラムは、とても驚くべき経験でした。交流を通じて日本の文化を学ぶことができたし、自分の文化を共有することもできました。向陽高校の学生は、みんな素敵で、気配りがあり、人に敬意を払い、積極的でした。彼らと会話し、コハラ高校を案内でき、とても楽しかったです。最後の二日間は、忘れることのできない思い出となりました。

◆ 学校交流参加学生（那覇国際高等学校：ワシントン州シアトル）

日本人高校生は、素晴らしいプレゼンテーションをしてくれました。アメリカについて事前に色々調べて勉強していて、アメリカ訪問にとっても熱心に取り組んでいることが分かりました。生徒の皆さんは、アメリカの文化も尊重しつつ、自分たちの文化について知ってもらおうとしていたので、それは私たち双方に素晴らしい経験となりました。この交流での大きな収穫は、自分達自身を留学生の視点から見ることができた、ということです。私たちの行動について説明し、一般的なライフスタイルを見てもらおうとしましたが、その際日本と比較して自分たちのライフスタイルや文化が違うことに気づきました。これは自分自身を見つめなおす素晴らしい機会となりました。

6. 参加者の対外発信

 <p>11月5日 12:15 アメリカ合衆国ワシントン</p> <p>I'm impressed by the way they exhibit. We can make video, take photos with special effect, and create collage with opinions from visitors.</p> <p>And above all, the exhibits about the history of Japanese-American shocked me. There came an old lady accidentally who survived Japanese Internment. Her words means a lot. She didn't complain anything, even though she and her family had faced difficulties. She reminded me of my grandma who survived the battle of Okinawa.</p>	 <p>docomo 4G 16:11 63%</p> <p>Instagram</p> <p>Kohala High School</p> <p>—nico_aさん、他38人が「いいね！」しました</p> <p>ohsiro_sun 3day</p> <p>We went to Kohara high school . We gave a presentation about sightseeing spots in Okinawa. This presentation was a success. I was so happy.</p> <p>4日前 翻訳を見る</p> <p>ohsiro_sun</p>
<p>（知念高等学校）カリフォルニア美術館についての発信 (Facebook)</p> <p>私はカリフォルニア美術館の展示方法に感銘を受けました。訪問者の意見を入れ、ビデオ、写真を特別な加工をして、作品を作ることができます。特に、日系アメリカ人の歴史に関する展示は私に衝撃を与えました。偶然、日系人収容所を生き抜いた老婦人が来られました。彼女の言葉はたくさんのメッセージがありました。彼女の家族は困難に直面していたにもかかわらず、不満を語りませんでした。彼女の姿からは、沖縄の戦いで生き残った祖母が思い出されました。</p>	<p>（向陽高等学校）学校交流についての発信 (Instagram)</p> <p>コハラ高校を訪問しました。私たちは沖縄の観光スポットについて発表を行いました。発表が成功してとても嬉しかったです。</p>



(向陽高等学校) 日系人についての発信 (Instagram)

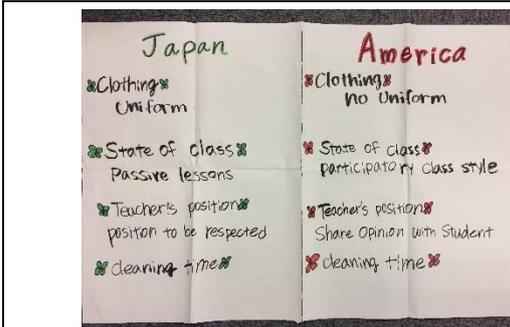
日系人と会いました。ハワイには県人会があり、沖縄の県人会は活発に活動しており、ウチナンチュフェスティバルなどのイベントが毎年あります。州知事の David Ige 知事は沖縄3世です。他の国にいてもウチナンチュであることに誇りに思っていることに尊敬します。



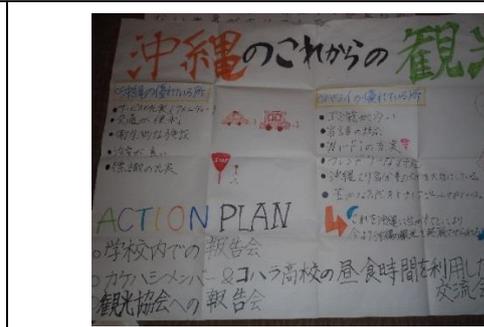
(那覇国際高等学校) 表敬訪問についての発信 (Instagram)

在シアトル領事館では、総領事や領事館で働く方、沖縄県人会の方からお話を聞くことができました。話の中で、アメリカについてはもちろん、日本についても知らないことが沢山ありました。新しい事を知れた喜びと同時に、日本について知らないことが多いと痛感させられました。日本について自分の口で世界に発信できるようにもっと勉強しようと、自分の意識を高めるいい機会になりました。

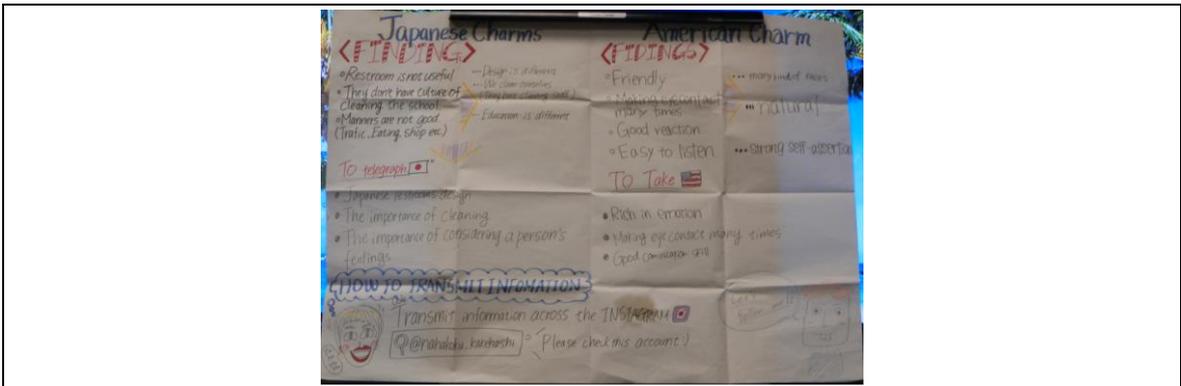
7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



アクション・プランの発表①(知念高等学校)  
 ①全校集会にてプログラムでの成果・考察についてパワーポイントを使って発表し、アメリカと日本の相違点・共通点・利点を共有する。  
 ②新聞を発表し今回のプログラムの成果を形として残す。新聞の配布は学校内外とし、より多くの人に興味を持ってもらう。月一回で発行する。  
 ③SNS にて今回のプログラムでの体験や成果を広く発信する。  
 学校報告会にてプログラムでの体験や成果を発表し、他の生徒にも興味を持ってもらう。また同様の発表を地域の小・中学校にて行い、より多くの人に発信する。



アクション・プランの発表②(向陽高等学校)  
 ①学校内での報告会、コハラ高校と昼食時間を利用した交流会、観光協会へ報告する。  
 ②ハワイのように、日頃の挨拶を大事にする。ハワイの楽観性を手本とする。  
 ③SNS を利用して、相手を思いやるような投稿をする。



アクション・プランの発表③ (那覇国際高等学校)

インスタグラムで日本の良い所, 日本がアメリカから取り入れるべき点を SNS で発信する。